

沖繩慰霊の日を覚える主日礼拝

説教『 見つける喜び、見つけ出される喜び 』

吉丸 初美 師

司会 安部 愛 さん

奏 楽 白石 百合子 さん

招 詞 I テモテへの手紙 1章16節

の 祈 ( 5 6 4 )

讃 詠 5 4 6

交 読 詩 編 詩 5 4 編

祈 禱

讃 美 歌 21- 4 3 3

使 徒 信 条 ( 5 6 6 )

聖 書 ルカ福音書 15章1~10節

説 教 (口語訳115頁、新共同訳138頁)

『見つける喜び、見つけ出される喜び』

祈 禱

讃 美 歌 21 - 4 4 7

献 金

感 謝

報 告

頌 栄 5 4 2

祝 禱

後 奏

次週の礼拝(三位一体後第四主日礼拝)

説教『ゆるしの食事会』

マルコ福音書 2章13~17節

招詞 ローマ人への手紙 3章22節、交読詩篇42編

讃美歌 546、21-484、21-523、543

礼 拝 当 番

今週 21日 司会 安部 愛 さん

次週 28日 司会 吉丸 初美 さん

会堂清掃奉仕 7月5日(日)

コーヒータイムの後にいきます。

本日の集会

★教会学校 午前9時45分

★コーヒータイム 礼拝後~

それぞれの思いを語り合しましょう。

●レコードコンサート 13時~15時30分

シューベルト 弦楽四重奏曲 第13番イ短調<ロザムンデ>

シューベルト ピアノ五重奏曲 イ短調<ます> D 667

シューベルト 交響曲第8番 短調<未完成> D 759

●めぐみ幼稚園参観日 13時~

今週の集会/スケジュール

●めぐみ幼稚園参観日代休 6月22日(月)

★沖繩慰霊の日 6月23日(火)

覚えて共に祈りの時を持ちましょう。

●めぐみ幼稚園礼拝 6月26日(金)10時30分~

暑さに負けず子どもたちは元気に過ごしています。

子どもたちの成長と保育者の働きを覚えてお祈りください。

次週以降のスケジュール等

●めぐみ幼稚園 避難訓練 6月24日(水)

S 広島キリスト教信徒会総会 6月28日(日)15時~

於:日本バプテスト広島教会

★聖書を読む会 6月30日(火) 10時30分~12時

創世記 19章を読んでいきます。

興味がある方は是非ご参加されてください。

S 清鈴園説教奉仕 7月1日(水) 10時30分~

入所されている方々の健康をお祈り下さい。

★7月教会定例役員会 7月5日(日) コーヒータイム後

役員の方々の健康と働きを覚えてお祈りください。

●レコードコンサート 7月19日 13時~15時30分

ヴェートーヴェン

管弦四重奏曲 第15番 イ短調 作品132

交響曲 第5番 ハ短調 《運命》作品67

先週の集会

教会学校

主日礼拝

聖書を読む会

男 女 計

0 0 0

4 4 8

4 1 5

◇今週の説教要旨(沖繩慰霊の日を覚える主日礼拝)

『見つける喜び、見つけ出される喜び』ルカ福音15章1-10節  
 聖書には会食についての場面が出てくる。そこではイエスさまが人々との会食を積極的に受け入れていたことが示され、その会食中に議論がされたり、イエスさまご自身からの教えが語られたりしていたようだ。イエスさまの時代「取税人」はユダヤ人であってもユダヤ社会の構成員ではなくローマ社会の一員だった。彼らはローマ国家のためにユダヤ人から税金を徴収する仕事をしていたため、重税で苦しんでいたユダヤ人たちから憎まれていた。パリサイ人や律法学者たちは、イエスさまが「取税人」や「罪人」と呼ばれていた人と食事を共にすることにつぶやき不平をいった。それはタブーだったから。でも正しいと言われることでも、神の目から見て正しいとは限らない。100匹の羊の中の99匹はどうだったか。自分たちは間違っていない。律法を遵守しているから。いつの時代も差別や排除がある。何年か前よく耳にした言葉「多様性」と「共生社会」。最近ではめっきり聞くことがない。私たちの周りにはいろいろな人がいる。健康な人そうではない人。社会は「効率主義」「効率主義」を評価するから、生きずらいと感じる人は多い。しかし、見失われた一匹の羊は何故いなくなったのか。イエスさまは99匹を野原に残して、その一匹を見つけるまで捜さないか、と当然のように尋ねた。しかし、多くの人はそれは当然ではないと考える。そして、その一匹が見つかった時天の喜びは大きなものであると言われた。100匹の群れ全体が失っていた大切な何か「一匹の羊」にたとえられている。イエスさまはこの「一匹の羊」や「無くした銀貨」を探すために神から遣わされた。そして、見出されたものはイエスさまに担われて神のもとに帰る。天のみ使いたちもが喜ぶことだと聖書は語る。それは何だろうか。6月23日沖繩慰霊の日を覚えたい。すべての日本人が沖繩を訪れ、平和祈念資料館の体験記を読むことを勧めたい。沖繩戦がどれだけ大変であったかを理解して、悲しみを共有するために。いかなる悪であっても、過去の過ちを正しく認識することこそが、戦争を繰り返さないための第一歩なのではないだろうか。平和を実現するため。